



たばたあずみ

Tel・Fax  
550-6674



山根とみえ

Tel・Fax  
550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax  
558-9721

### 3 月定例市議会

## 戸沢ひろゆき議員の一般質問

2014年度第1回3月定例市議会において戸沢ひろゆき議員は、市民参加の自治基本条例の制定を求めるとともに、あきる野農業の振興について質問しました。公式あきる野市ホームページの市議会中継をアクセスして頂き、市長・市当局への再質問による論戦を観ていただきたいと思います。

## 市民参加の自治基本条例制定を

### 登壇による質問

当市では平成17年12月に市民公募をふくめ20名で東経大法学部教授・福岡さんを委員長として「(仮称)あきる野市自治基本条例」市民検討委員会がつくられ7回の検討委員会が行われ、中間答申を市長に提出されています。全国では298箇所の自治体で基本条例が制定しています。条例の基本は、市民がまちづくりの主役であること、市政は市民参加で運営されると条例でうたっており、その規範条例で市政が運営されるというものです。市長の自治基本条例制定の意思を伺います。

### 戸沢議員の再質問要旨

まちづくりの主人公は市民である。コミュニティの醸成が大切だ。第三者評価委員会、オンブズマン制度など市民の声を聞こうとする姿勢が今こそ必要です。若く秋川市長になった当時、市長は「子ども議会」「寿会議」など開催して市民の声を取り上げて来た。今でも協働のまちをうたい、市長への手紙制度もある。不十分でもパブリックコメントも行っている。ぜひ市民参加の市政運営の規範条例として市民参加の自治基本条例の制定を求めると訴えました。

### 臼井市長の答弁要旨

中間答申をみて、市政運営では議会制民主主義をとってきている。私は保守ですから改革に反対だ。12年の地方分権一括法以降、熱病のように条例化の動きが起こった。分権したところで財政が確保できるわけではない。議会制民主主義があり、議会基本条例は問題ではないかと考えており反対だ。再検討はありませんと答弁しました。



秋川市時代の議場は  
福祉会館三階でした

中学生代表が議員となり臼井市長に質問。市長が答えている光景(昭和50年代)

## あきる野農業の振興について

### 登壇による質問

肥培管理が出来ず農家の農地継承が困難で、放棄状態の農地が見られます。農地と農業経営は、まちづくりの大切な課題であり市が特段の支援をすることが必要です。そこで次の質問をします。

- ① 市の総合計画には、集団的農業振興地域と計画がある。農地の肥培管理されていない「未耕作農地」をどのような形で解消させる展望を持ち、課題として何か求められているか伺います。
- ② 新鮮な「地産地消」の農作物の販売所となっているファーマーズセンターの改修計画について伺います。

### 環境経済部長の答弁要旨

遊休農地の調査は農業委員会で現地調査し指導している。27000㎡を超える農業が遊休。農業委員会と連携し新規農業者の育成に勤めている。貸手・借手の連携で農業の規模拡大と安定経営に努力している。農業経営基盤強化整備促進法に基づき努力する。ファーマーズセンターの改修計画については老朽化しており、農業組合と協議しながらプロジェクトチームを通して改築の対応している。

### 戸沢議員の再質問

観光農業を推進し有機肥料の促進や無農薬目指し頑張っていることは知っている。ネオニコチノイド系の低農薬がミツバチを減らしていると聞く。無農薬野菜めざし、安全で安心、新鮮な「地産地消」の観光・環境のまちらしい農業振興を進め内外にアピールすることを要求しました。

### 法律相談

4月24日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。